記入例(1)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表(予定・実績表)(令和2年4月分) 管理者がサービス提供責任者等を

兼務する場合は、従事時間を分け 医宅介護 重度訪問介護 同行援護 行動援護 移動支援 事業所名 ヘルパー事業所あいち 当に(こ) ること(管理者は原則2分の1以上) 変形労働時間制を採 第1调 第2调 笙3调 第4调 4调 第5週※ 度 同行 行動 移動 週平均 | 他 用している場合は「有」 居宅介護 資格 1月)の 氏名 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 の勤務 の に〇を付け、()と下段 膱種 形。 |問||援護||援護||支援 ×4 合計 X1 **※2** 63 ×3 ×3 ×3 時間 聞 に必要事項を記入する。 土日月火 水 水木 金 ×6 第5调まで勤務時間を 4 4 4 4 4 4 84 20.0 4 4 4 記載し「4週の合計」欄 (2) 管理者 愛知 太郎 実績 200 には第5週までの合計 84 を記入する。 4 4 4 84 20.0 4 4 謹從事者養成研修 ※ 事業所において勤務表 # ++ ++ 愛知 太郎 ス提供責任者 (一般・広用)・2 助接護從業者養成研 として使用する際は、変形 84 20.0 労働時間制の有無に関わ 予定 らず、予定・実績欄とも第5 6 6 12.0 6 6 54 同行接護從事者 (3) ++ X 福 健造 X X X 過までの時間数を記入して 養成研修 (一 実績 6 6 11.2 48 般・応用) ください。 予定 6 6 6 6 6 6 6 6 6 126 30.0 行動接護従業 (3) 従 従 森増 木子 従業者 X 者養成研修 実績 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 616 6 120 28.5 8 8 8 8 8 8 168 40.0 8 8 従業者 (1) 従 従 従 従 名護 一子 動接護從業者養成研 実績 168 36.0 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 2 2 2 グループホーム 予定 2 2 10.0 従 × 初任者研修 健福 次郎 あいち・生活指 126 実績 2 2 2 2 2 2 2 2 2 9 2 2 2 0.06 2 42 導員 予定 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 616 6 126 30.0 事務員 高冷 福士 居宅介護に従事しない 実績 6 6 6 6 6 28.5 6 6 6 120 場合は「×」を記入 新規の場合は**指定月以** き時し **対象職種:**全職種 **労基庫出日:** H 26.8.1 ☐:8時間 分 1週:40時間 (有 「か月単位」 1年単位 降3月間の推計数を記載 15分⇒0.25、30分⇒0.5で入力 してください。 168 時間 分) 変更・更新の場合、提出月の前月までの3月分を記載 事業により サービス提供時間 サービス提供責任者の 利用者数(乗降介助のみは0.1人) 配置すべき 配置すべき 従業者数 配置すべき 従業者の員数 専従 兼務 従業者が異 ービス提供i ーピス提供責 ーピス提供責 必要配置数の算出 ※10 サービス提供責任 / 推常 1月 2月 3月 平均 任者数(A) 1月 2月 3月 平均 任者数(B) 1月 2月 3月 平均 任者数(C) なる場合は 1 居宅介護の 者とヘルパーの合 居宅介護 非常勤 3 7.0 8.0 8.0 7.7 0.2 123.00 120.00 128.00 123.7 0.3 3.0 0.3 3 人数を記入 計を記入(人) ¥ 474 1.0 0.1 予定 重訪専従 重度訪問介護 1.0 0.1 214.0 220.0 225.0 219.7 0.3 勤務延べ時間数(a) 実績 4.0 0.4 他も従事 462 同行援護 34.0 32.0 34.7 0.1 3.0 0.3 常勤が勤務すべき時間数(b 2.0 0.1 38.0 168 17 26.0 35.0 0.3 行動援護 0.1 33 (31.3 0.1 3.0 0.1 2.8 予定 常勤換算後の人数 (a/b) 移動支援 2 2.3 3.0 実績 2 0.1 20.0 22.0 26.0 22.7 2.7 重度訪問介護以外の合計 10.3 209.00 10.0 10.0 M 0.3 203.00 225.00 212.3 0.5 4.0 0.4 0.3 (イ) 当事業所に配置すべきサービス提供責任者の数 重度訪問介護含む合計 11.0 11.0 12.0 11.3 0.3 417.00 429.00 450.00 432.0 1.0 5.0 0.5 0.3 【介護保険と別々に算出】=(**)+(イ)と(ウ)のいずれか 重訪除く 14.0 15.0 16.0 15.0 ※色付きのセルに実績値を入力すること。利用者数及び従業者数の合計欄はダブルカウントしないよう注意。 0.3 人うち常勤 1 介護保険 (A)(B)(C)のうち との合計 重訪含む 15.0 16.0 16.0 - 平成27年度に導入された。利用者数50人ごとに配置できる緩和措置を適用する場合は左の枠内に「50」を選択。 十 訪問介護等の基準 最小の数 (7)は重訪のみ 複数サービスに計上される者については重 0.1 人 うち常勤 注1) 本表は、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護及び移動支援事業所について作成してください。 の必要数 注2) 指定申請変更届等で本市へ提出する際は、予定欄のみ※6のとおり時間数を記入してください。また、事業所において勤務表として使用する<mark>複カウントしないで全体で1人とカウント</mark> ださい。 (イ)は重訪を除く ※1 「居宅介護・職種」欄は、居宅介護に係る全ての職種を、職種ごとに並べて記載してください。居宅介護に従事しない場合は「×」を記載してくだ 合計数 0.4 人 うち常動 事業の必要数 ※2 「動務形態」欄は、<u>①常動・車従、②常動・兼務、③非常動・車従、④非常動・兼務</u>のいずれかを記号で記載するものとし、職種ごとにこの順でまとめて記載してください。育児短時間勤務者の場合は「①短」「②短」と表記してください。 (ウ)は重訪を含む ※3 「重度訪問」欄~「移動支援」欄は、サービス提供責任者は「サ」を、従業者は「従」を、従事しない事業は「×」を記載してください。 \wedge 【介護保険と一体で算出】 必要数 ※4 「資格」欄は、従業者の職種に関する資格の種類を記載してください。 0.4 人 うち常勤 1 人 ← 同一法人内で複数事業所に勤務し、それぞれに時間数を分けて勤務する方は、法人として「常勤 ※5 ※5の欄は、当該月の曜日を記入してください。 しずれか 雇用」であっても、この表の勤務形態では「③非常動専従」となります。また、その方は※7の欄に ※6 変形労働時間制を採用している場合のみ、第5週まで時間数を記入し、「4週の合計」欄には第5週までの合計を記入してください。 を配置 勤務する事業所名と職名を記入し、※8の欄にその時間数を記入します。当該事業所の中で複数 ※7 「**他の事業所の名称及び職名**」欄は、同一法人内の他事業所で兼務する者について、その事業所名称及び職名を記載してください。「の職種を兼ね、その合計時間数が常勤の時間数に満たない方は「④非常勤兼務」となりませ ※8「他事業所での合計勤務時間数」欄は、他の事業所での4週間(又は1月間)の合計勤務時間数を記載してください。 474時間÷168時間=2.821・小数点第2位以下切捨て→2.8 ※9 「常勤職量の勤務すべき時間数欄は、当該事業所・施設における常勤職員の勤務すべき時間数を記載し、変形労働制を採用している場合はその内容を記載してください。

※10「サービス提供責任者の必要配置数の算出」欄は、本書提出日の前3月間の状況を記入してください。なお「障害関係の合計」欄及び「介護保険との合計」欄において、<u>複数サービスに計上される者については重複カウントしないで全体で1人とカウン</u>トしてください。 また、新規、再開の場合(直近3月の実績がない場合)は**適切な推定数を各月の欄すべてに記入**してください。〔介護保険と別々に算出する場合、利用者数・サービス提供時間・従業者数のすべてに3月とも入力しないと正く計算されません。〕